

「第52回全国消防救助技術大会」に千葉市消防局職員が出場します ～27年ぶりに本市主管で開催されます～

全国各地から選抜かれた消防隊員たちが一堂に会し、日々鍛えぬいた消防救助技術を競う「第52回全国消防救助技術大会」に千葉市消防局の職員が出場しますので、お知らせします。

なお、今回大会は本市が主管となって開催されるものであり、本市主管の開催は27年ぶり5回目となります。

1 日時

令和6年8月23日（金）9：00～16：30

2 場所

【陸上の部】千葉県消防学校（市原市菊間783-1）

【水上の部】千葉県国際総合水泳場（習志野市茜浜2-3-3）

3 参加隊員数

【陸上の部】690人（千葉市消防局からは28人が出場）

【水上の部】242人（千葉市消防局からは12人が出場）

4 訓練内容

【陸上の部】

はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出、
ロープブリッジ救出、引揚救助、障害突破、技術訓練（常滑市消防本部）

【水上の部】

複合検索、基本泳法、水中結索、人命救助、溺者救助、溺者搬送、水中検索救助、
技術訓練（熊本市消防局）

5 主催等

- （1）主催 一般財団法人全国消防協会
- （2）後援 総務省消防庁、全国消防長会
- （3）主管 千葉市消防局

6 取材について

取材を希望する報道機関は、事前申し込みが必要となります。

別紙「取材申し込みに係るご案内」をご確認いただき、8月22日（木）までに事前申し込みをお願いします。

＜参考＞全国消防救助技術大会の概要

救助活動に必要な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の救助隊員が一同に会し、競い、学ぶことを通じて他の模範となる救助隊員を育成することを目的に、昭和 47 年（1972 年）から毎年開催されている。（主催 一般財団法人全国消防協会）

本大会は、陸上の部と水上の部に分かれており、それぞれの部に隊員一人一人が基本的な技能を練磨する「基礎訓練」、隊員個人の技能とともに隊員間の連携を練磨する「連携訓練」、さらに、使用する器材や訓練要領等を定めず出場隊員の創意工夫のもとで、より安全で確実・迅速な訓練を披露する「技術訓練」が行われる。

千葉市が主管となって開催されるのは、平成 9 年に開催された第 26 回大会から 27 年ぶり 5 回目である。

※平成 26 年 8 月 27 日に第 43 回大会が千葉市で開催される予定であったが、直前に広島県広島市で発生した豪雨による土砂災害への対応を考慮し、中止となった。

※一般財団法人全国消防協会ホームページ

【URL】 <https://www.ffaj-shobo.or.jp/rescue/>



ロープブリッジ救出の様子



障害突破の様子



複合検索の様子



人命救助の様子